



特別賞

株式会社フォレストシー

「里山通信」

日本の隅々まで、“IoT 圏外”をゼロにするインフラサービス

「日本の隅々までIoT圏外をゼロに」とのスローガンを掲げ、携帯電話通信網の圏外が多い地域向けに開発したIoT通信インフラサービスが、フォレストシーの「里山通信」である。

LoRaWANを活用した実証実験を行った際、20 m Wの電波出力規格では通信距離が短いと実感。250 m Wの出力に対応したLoRaプライベート対応機器の開発を行い2018年に提供を開始した。

見通して最大200km、険しい地形でも5~10kmの通信距離を達成し、獣害対策などでの実用に沿うものとなった。双方向通信にも対応。2019年2月時点で50地域以上の自治体の

里山、中山間地で採用されている。

山奥の状況をカメラで見える化する、登山者に見守り端末を渡し位置情

報やSOS信号を出せるようにする、簡易的に地滑り検知を行うなど、多様なIoT通信サービス利用が期待される。

図 あらゆる場所でIoT通信を実現する「里山通信」

